

広戸小学校

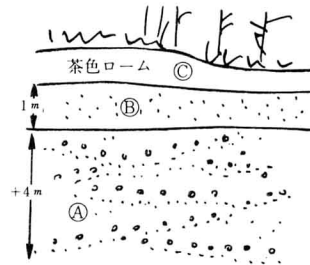
1、地層の観察

- (1) 観察する場所
学校への登り坂のがけ
- (2) がけから離れて地層全体を観察する。
- ① がけの地層が見通せる所から、がけの全景をスケッチする。
- ② 地層の重なり方に注意して地層を書き入れる。



また、地層の厚さや色、地層に見られる模様など気付いたことを書き入れる。

- ③ この高台は、レキ層や砂層のような、段丘性堆積物が積もってでき上がっていることを理解する。
- ④ 斜交模様のレキ層を追いかけ、地層は水平方向にも広がっていることを理解する。



釈迦堂川をはさんで、対岸のがけにも、同じレキ層や茶色のローム層が見られるので、地層の広がりの理解を一層深めさせられる。

- (3) 地層に近づいてその特徴を観察させる。

㉕層は1~10cm大の円レキが積もってできたレキ層です。レキの種類は、青味を帯びている緑色凝灰岩と、硬い安山岩が主で、レキや砂の並び方が斜交しているのが特徴です。

また、レキ層はすきまが多く、水分を含む地層です。

㉔層は淡黄色をした、砂と火山灰が混じってできた地層で、砂質凝灰岩と呼ばれます。

㉓層は茶色をしたローム層で、那須火山系の火山灰が、西風で運ばれて積も